

「米国におけるろう通訳者(Deaf interpreter)をめぐる動向」

川上 恵 (ギャロデット大学通訳学科修士修了)

米国における手話通訳の分野では、現在、「ろう通訳者(Deaf interpreter)」が注目されている。ろう通訳者とは、ろう者が通訳の仕事を行うことである。これは、ろうコミュニティーの中では昔からよく行われてきたことだが、認定試験に合格した「有資格ろう通訳者(Certified Deaf Interpreter)」の活躍が見られるようになったのは最近になってからのことである。本講演では、2014年11月に全米手話通訳教育センター協会(National Consortium of Interpreter Education Centers)の下にあるろう通訳者研究所(Deaf Interpreter Institutes)から発表された「ろう通訳者養成カリキュラム」の内容を紹介するとともに、ろう通訳者の役割、ろう通訳のトレーニングなどについて解説する。また聴の手話通訳者がろう通訳者と協働することにより期待できる通訳業務の幅、質、効率の向上について述べる。